

代わり、自分の細胞から作られた臓器による再生医療につながるほか、創出された臓器を対象とした新たな医薬品開発の研究が、飛躍的に加速することも期待されている。

谷口教授は今後、再生医療に应用するため、安全性と有効性の検証を重ね、実用化をめざす考えを説明。その上で「このセンタ―を将来、国内外に向けて

臓器を作る拠点施設へと発展させていきたい」と語った。

これに対し、党市議団はiPS細胞などの研究に必要な予算の確保などに力を注いできた経緯を踏まえ、

「最先端の研究を担う人材の育成とともに、中小企業を含む再生医療関連産業の創出と振興に結び付くよう、全力で支援していく」と述べた。

## アートで街おこし

### 中房総国際芸術祭を開催

千葉市  
葉原市  
千市

千葉市原市では現在、芸術を通して地域振興を図ろうと、「中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス」

「クス」を開催している（5月11日まで）。公明党の塚定良治県議と市議会公明党（二田口雄幹幹事長）のメン



市原湖畔美術館を訪れ、関係者から話を聞く塚定県議（左から2人目）と市原市議会公明党のメンバー

バーはこのほど、会場の一ツである市原湖畔美術館を訪れ、関係者から話を聞いた。

など）で、今も緑豊かな自然が残る中山間地域。北部地域が首都圏で働く人のベ

メイン会場となっているのは、市の南部地域（上総牛久駅―養老深谷駅間の商用施設や廃校）で、今も緑豊かな自然が残る中山間地域。北部地域が首都圏で働く人のベ

ツドタウンとして発展した一方、南部地域は過疎高齢化が深刻な問題になってきた。同イベントは、廃校やローカル鉄道の活用、食や自然との触れ合いをコンセプトに、芸術を通して地域を活性化するのが狙い。会場の至る所に、国内外のアーティストが制作した芸術作品を展示しているほか、地域の特産を使った料理を味わうこともできる。また、「おにぎりのための、毎週運動会」などの各種イベントも開催され、来場者を楽しませている。市の担当者は「アートを通じて、市原のことを知ってもらえるいい機会」と話していた。地域活性化への取り組み

### 議会三役

このほど開かれた地方議会の本会議で、次の公明党議員が議会三役に選出された。

- ◆副議長▽ 池上喜美子
- ◆長野県上田市議会